

新板
甲陽軍鑑
九之五

和書門			
二三冊	一三架	六三函	二三六一二號類

庫文閣内		和書
一七〇函	二三〇一冊	二三六一二號類

庫文閣内	
番號	和 23612
冊數	23 (9)
函號	170 225



綴じ部(喉部分)の文字など開きが不鮮明な箇所あり



上

甲陽軍鑑卷第九目錄

淺草文庫

十八名 甲列ありて、とき合戦の事、トシノ

十九名 信玄公十九歳トシ、トシノ一年トシノ行儀之トシノ

付 取持他トシノの事、トシノ板垣信秋トシノ諫言トシノの事

二十名 信列海虎を殺すトシノ

廿一名 甲列ありて、海合戦の事、トシノ

廿二名 甲信さのひ、せさか合戦の事、トシノ

廿三名 信列平次、大門トシノありて、合戦の事、トシノ

廿四名 山本勘次トシノ上トシノ之トシノ并トシノ塩虎トシノを殺すトシノ

廿五名 山本勘次トシノ同トシノ善トシノ并トシノ信列トシノある合戦の事、トシノ

下

甲陽軍鑑下

廿六品 山本勘次（江の）并

信濃上野場（上野）首領（下）上杉五郎（板垣）

形合我の事（付）日日（日）日敵（日）信濃合戦（中）

廿七品 長野信濃（長野）并長野信濃（長野）

板垣（中）山本勘次軍（信）信濃國（信）

信濃上野原合戦（中）

廿八品 村上重信（尾）尾末虎（尾）并

上野原の國（年）信濃海野（年）合戦（中）

忍此上下信濃（年）十八歳（年）廿七歳（年）公

戦あしき（年）廿七歳（年）



甲陽軍鑑卷第九上

武田信玄（信）一代（年）久矢小合戦（年）或城（年）

或様（年）或略（年）日記（年）

一 夫信玄（信）推村（信）勝子（信）代殿（信）子細（信）

一 信玄（信）二十八歳（年）の時（年）駿河（年）武土（年）

一 今川（信）駿河（信）の結（信）白甲（信）列（信）を（信）て（信）こ（信）り（信）國（信）

一 仕（信）し（信）と（信）く（信）幸（信）駿（信）の人（信）者（信）列（信）り（信）て（信）甲（信）列（信）飯（信）田（信）

一 河（信）急（信）ま（信）り（信）く（信）来（信）り（信）と（信）志（信）し（信）て（信）六（信）十（信）日（信）の（信）陣（信）を（信）と（信）り（信）

一 石（信）其（信）時（信）甲（信）列（信）一（信）家（信）の（信）者（信）を（信）捕（信）り（信）て（信）武（信）田（信）

一 而（信）家（信）既（信）滅（信）却（信）せ（信）し（信）と（信）仕（信）り（信）て（信）信（信）虎（信）公（信）れ（信）家（信）老（信）殺（信）

甲陽軍鑑卷第九上

急事陸守とる。大母の交士。交回るとい
 て。信虎の勝利を助ける。敵の大將と
 対する。まふ。その日。其時。進まらぬ。務
 子代殿と信玄の推しをせよ。其時の
 合戦。勝子代殿の合戦。はく。武田信虎
 家老の由。はらり。務子代殿。進まらぬ。務
 の弟。思後。信利。兩訪問神。より。吉來と
 一勝子代殿。十六歳の三月。甲子。勅使より。甲
 別。武田源信。信守。大膳。大志。と。被成。を。の。ふ。又
 二。方。萬。松。院。義。晴。より。上。野。中。務。少。捕。使。

有と。一。時。と。云。字。以。下。と。る。信。玄。と。い。ふ
 一。時。信。玄。三。十。一。歳。大。文。正。辛。酉。二。月。武。家。志。の。ひ。し。又
 初。命。を。の。り。ゆ。り。は。信。虎。信。玄。と。の。の。十。六。歳。一
 一。の。多。く。と。ら。る。て。か。ま。れ。ま。り。て。天。正。元。年。癸。酉。四。月
 十二日。五十三歳。と。い。ふ。信。虎。界。ま。り。て。敵。に。押
 付。と。ま。り。し。由。存。生。の。間。敵。内。の。城。二。つ。と。ら。る。務
 子。那。を。一。つ。や。ま。り。ま。り。し。甲。辰。の。日
 九日。信。虎。國。家。の。大。將。の。人。質。を。と。ら。る
 務。子。を。一。つ。や。ま。り。ま。り。し。勝
 子。を。一。つ。や。ま。り。ま。り。し。甲。辰。の。日

二年の暮。前のつとくまきり。長條カシノ。勝頼
 五をくんとおのひてより。甲列カシノ。田山持の城
 郡とくし。あり。西島勝頼。長條を
 くれつ。余軍のつとく。かま。な
 長信玄のち。少。かま。な
 おう。こ。城のは様。真義マキ。書。あり
 一天文丑年。丙申。十一月廿一日。信虎カシノ。甲府を
 立。信列カシノ。働の村。信虎カシノ。甲府を
 列。海聖カシノ。城を。二十四日。す。大書
 ぬ。信虎。夜城を。す。な。

同十二月廿六日。甲府へ。信虎カシノ。馬込の
 息カシノ。信。ち。甲府へ。甲府
 中。海聖カシノ。城を。甲府
 け。信虎カシノ。八千の人数。甲府
 信。十六歳
 信。初陣の
 一 天文七年。戊戌正月元日。信虎カシノ。子。息。信
 海聖カシノ。城を。甲府
 板垣信カシノ

之つて信虎公より。嫡子晴信公へ傳はせり。其名や。大膳教也。駿河義元ノ肝入をりて。信濃守大膳大夫と。晴信公と。名をいひ。山止なり。義元ノ分り。善事。其見をり。公のつら。老の穢。化儀も。老。小との儀や。晴信公。伊豆事。虎公。伊豆事。と。傳り。主。飯富共。來。後。信虎公。傳り。越。南。二月。駿河へ。晴信公。越。り。一。年。も。駿河。を。治。り。善事。文志。の。人。と。い。は。し。ゆ。く。大膳教也。

信虎公。嫡子。大膳教也。永。く。甲府。へ。傳。り。お。ま。り。の。摸。様。なり。晴信公。十八。歳。の。時。也。同。年。成。り。二月。九。日。信虎。駿河。へ。傳。り。晴信公。三月。末。駿河。より。一。年。も。駿河。を。治。り。晴信公。と。伊豆。事。也。然。也。板垣。信。形。飯。富。共。來。也。人。を。晴信公。傳。り。信虎公。甲府。を。治。り。九。日。月。十七。日。善事。也。駿河。義元。と。肉。志。の。人。也。

信虎云。此後の侍者。これ妻子。或人質。よ。其。人。質。は。信。虎。の。侍。者。に。由。り。中。古。後。の。侍。者。は。皆。甲。陽。へ。拘。り。也。天。文。七。年。戊。戌。六。月。信。列。乃。大。將。也。諏。訪。頼。義。同。は。此。の。小。笠。原。長。時。談。合。一。り。り。を。團。の。甲。列。大。將。也。信。と。父。信。虎。を。の。ま。り。て。男。を。想。飲。よ。仕。し。し。と。ま。ぬ。親。子。中。意。し。て。時。信。皆。略。を。向。り。し。あ。ら。じ。義。元。を。ま。の。信。虎。を。後。に。追。出。し。し。と。ま。ゆ。り。然。し。て。甲。列。も。父。信。虎。の。子。息。時。信。也。二。ツ。一。成。長。し。上。信。虎。は。列。の。う。り。成。少。壯。の。あ。つ。れ。を。

今程も甲列の侍者。時信。より。流。り。し。ま。り。て。信。列。中。古。後。の。侍。者。に。由。り。中。古。後。の。侍。者。は。皆。甲。陽。へ。拘。り。也。天。文。七。年。戊。戌。六。月。信。列。乃。大。將。也。諏。訪。頼。義。同。は。此。の。小。笠。原。長。時。談。合。一。り。り。を。團。の。甲。列。大。將。也。信。と。父。信。虎。を。の。ま。り。て。男。を。想。飲。よ。仕。し。し。と。ま。ぬ。親。子。中。意。し。て。時。信。皆。略。を。向。り。し。あ。ら。じ。義。元。を。ま。の。信。虎。を。後。に。追。出。し。し。と。ま。ゆ。り。然。し。て。甲。列。も。父。信。虎。の。子。息。時。信。也。二。ツ。一。成。長。し。上。信。虎。は。列。の。う。り。成。少。壯。の。あ。つ。れ。を。

の軍なり。小笠原康元を執をもつて。一合戦後
平をもちて。一合戦も度々の軍なり。一日、宮度
の合戦あり。又甲州勢も。信虎も。追おれ初
る。ぬ。連あれ。人数あり。六千餘許也。六子の人数
飯田共。一合戦。時信も。旗本。二の勝。一合
戦。利濃も。是も。時信も。旗本なり。二の勝
なり。二合戦。小田山田。二の勝也。二の勝也。是も
山田。二合戦。飯田。信虎。是も。旗本なり。二の勝
二の勝なり。二の勝なり。二の勝なり。二の勝なり。
持。二三四の。二の勝なり。二の勝なり。二の勝なり。

後。今井伊勢日向大和。人。雑兵。二の勝
一。他。今井伊勢日向大和。人。雑兵。二の勝
二。他。今井伊勢日向大和。人。雑兵。二の勝
三。他。今井伊勢日向大和。人。雑兵。二の勝
四。他。今井伊勢日向大和。人。雑兵。二の勝
五。他。今井伊勢日向大和。人。雑兵。二の勝
六。他。今井伊勢日向大和。人。雑兵。二の勝
七。他。今井伊勢日向大和。人。雑兵。二の勝
八。他。今井伊勢日向大和。人。雑兵。二の勝
九。他。今井伊勢日向大和。人。雑兵。二の勝
十。他。今井伊勢日向大和。人。雑兵。二の勝

一 小幡山城へ入大剛の働をのりし様子あり。度
 の合戦より二度なり。一番は鑓をへし。馬を
 名をし。四度のり。馬を敵中へ入。敵を
 馬より。起ておち。さる。張はつ。を。力。七。下。
 手負馬。と。お。入。手。を。負。を。さ。る。入。ち。り。
 を。馬。の。四。れ。ち。り。手。を。負。を。行。玄。の。あ。あ。入。氣。の
 ぬ。徳。手。も。と。く。ん。ら。ま。の。あ。感。快。を。し。小。幡
 一 山城。下。さ。る。ま。力。の。手。負。り。血。馬。の。疾。入。血。
 ち。り。一。回。の。血。も。く。月。も。入。る。栗。毛。入。り。く。く。
 一 月。も。の。馬。の。栗。毛。し。な。り。を。し。浅。湯。致。せ。よ。と
 一 ぬ。ゆ。あ。り。や。し。小。幡。山。城。事。也。其。時。多。小。幡
 織。子。と。り。小。幡。山。城。永。祿。四。年。四。月。の。六。月。病
 死。す。子。息。小。幡。又。六。湯。又。山。城。お。と。り。ぬ。浅。土
 あり。は。中。湯。合。戦。入。浅。功。の。つ。ま。く。女。八。歳。と。し。
 父。山。城。と。し。し。ゆ。め。の。さ。い。を。い。ゆ。り。下。さ。り。也。上
 一 天。正。二。年。己。未。六。月。廿。二。日。一。る。坂。原。に。記。之。
 一 天。文。八。年。己。丑。正。月。大。元。日。庚。午。一。る。坂。原。に。記。之。
 一 右。亥。の。年。中。也。時。信。の。臣。の。義。と。く。あ。り。あ。り。
 一 本。中。く。く。時。代。の。物。物。は。な。り。も。結。せ。り。

一 右亥の年中也。時信の臣の義とくありあ
 一 本中くく時代物物はなりも結せり

申書^{コサキ}に成^{ナリ}て成^ルるは子^コの孫^ソ子^シとわや^{ワヤ}し^シは
 子^コ細^ホや^ヤ孫^ソ小^コ教^{コウ}為^ニ成^ルる。或^レ若^カ女^メ房^{ボウ}を^ト。^{キヤク}
 日中^{ニチチュウ}を^ト。所^{トコロ}産^{ウチ}を^ト。日^ニ中^{チュウ}に^{シテ}産^{マシ}ま^シて^ハ産^ミる^ル。晝^{ヒル}と^シる^ル色^{シロ}
 と^シて^ハ蠟^{ロウ}燭^{ソク}を^ト。一^{ヒト}切^キ晝^{ヒル}晝^{ヒル}の^{トコロ}手^テの^{トコロ}か^ク。夜^ヨの^{トコロ}も^ト
 亂^{マシ}身^ミの^{トコロ}の^{トコロ}程^{ハジ}晝^{ヒル}や^ハ九^ク寸^{スン}分^{ブン}の^{トコロ}。た^ト。う^ウら^ラま^マす^ス。
 申^{マシ}書^{ショ}に^{シテ}揚^{ヨウ}と^シて^ハ。余^ヨを^ト。夜^ヨ晝^{ヒル}の^{トコロ}
 て^モ。大^{ダイ}將^{ショウ}の^{トコロ}。日^ニ中^{チュウ}に^{シテ}。對^{タイ}文^{ブン}目^メと^シ出^デ仕^シ
 の^{トコロ}。智^チの^{トコロ}。羊^{ヨウ}來^{ライ}の^{トコロ}。和^ワの^{トコロ}。和^ワの^{トコロ}。和^ワの^{トコロ}。和^ワの^{トコロ}。
 有^{ユウ}あり^リ。と^シて^ハ。又^{マタ}。和^ワと^シて^ハ。腹^{ハク}中^{チュウ}も^ト。あ^アら^ラま^マす^ス。
 此^{コノ}の^{トコロ}。和^ワの^{トコロ}。道^{ミチ}も^ト。あ^アら^ラま^マす^ス。和^ワの^{トコロ}。和^ワの^{トコロ}。和^ワの^{トコロ}。
 を^ト。あ^アら^ラま^マす^ス。詩^シの^{トコロ}。和^ワの^{トコロ}。和^ワの^{トコロ}。和^ワの^{トコロ}。和^ワの^{トコロ}。
 あ^アら^ラま^マす^ス。揚^{ヨウ}と^シて^ハ。和^ワの^{トコロ}。和^ワの^{トコロ}。和^ワの^{トコロ}。和^ワの^{トコロ}。
 あ^アら^ラま^マす^ス。家^カの^{トコロ}。和^ワの^{トコロ}。和^ワの^{トコロ}。和^ワの^{トコロ}。和^ワの^{トコロ}。
 映^{エイ}信^{シン}。又^{マタ}。信^{シン}。虎^コの^{トコロ}。鬼^キ神^{カミ}の^{トコロ}。和^ワの^{トコロ}。和^ワの^{トコロ}。和^ワの^{トコロ}。
 中^{チュウ}の^{トコロ}。和^ワの^{トコロ}。和^ワの^{トコロ}。和^ワの^{トコロ}。和^ワの^{トコロ}。和^ワの^{トコロ}。
 の^{トコロ}。和^ワの^{トコロ}。和^ワの^{トコロ}。和^ワの^{トコロ}。和^ワの^{トコロ}。和^ワの^{トコロ}。
 推^{スイ}系^{ケイ}。和^ワの^{トコロ}。和^ワの^{トコロ}。和^ワの^{トコロ}。和^ワの^{トコロ}。和^ワの^{トコロ}。
 推^{スイ}系^{ケイ}。和^ワの^{トコロ}。和^ワの^{トコロ}。和^ワの^{トコロ}。和^ワの^{トコロ}。和^ワの^{トコロ}。

を^ト。あ^アら^ラま^マす^ス。詩^シの^{トコロ}。和^ワの^{トコロ}。和^ワの^{トコロ}。和^ワの^{トコロ}。和^ワの^{トコロ}。
 あ^アら^ラま^マす^ス。揚^{ヨウ}と^シて^ハ。和^ワの^{トコロ}。和^ワの^{トコロ}。和^ワの^{トコロ}。和^ワの^{トコロ}。
 あ^アら^ラま^マす^ス。家^カの^{トコロ}。和^ワの^{トコロ}。和^ワの^{トコロ}。和^ワの^{トコロ}。和^ワの^{トコロ}。
 映^{エイ}信^{シン}。又^{マタ}。信^{シン}。虎^コの^{トコロ}。鬼^キ神^{カミ}の^{トコロ}。和^ワの^{トコロ}。和^ワの^{トコロ}。和^ワの^{トコロ}。
 中^{チュウ}の^{トコロ}。和^ワの^{トコロ}。和^ワの^{トコロ}。和^ワの^{トコロ}。和^ワの^{トコロ}。和^ワの^{トコロ}。
 の^{トコロ}。和^ワの^{トコロ}。和^ワの^{トコロ}。和^ワの^{トコロ}。和^ワの^{トコロ}。和^ワの^{トコロ}。
 推^{スイ}系^{ケイ}。和^ワの^{トコロ}。和^ワの^{トコロ}。和^ワの^{トコロ}。和^ワの^{トコロ}。和^ワの^{トコロ}。
 推^{スイ}系^{ケイ}。和^ワの^{トコロ}。和^ワの^{トコロ}。和^ワの^{トコロ}。和^ワの^{トコロ}。和^ワの^{トコロ}。
 日^{ニチ}知^チ錄^{ロク}卷^{クワン}之^ノ二^ニ
 九

威却キヤクきしとひや。風多フエタを理ツクリなり。以後イコ信シノ別ワケ別ワケ

信シノあてしより。信シノあ國クニの信シノ自ミり。おりりて故コ社シャに。

初ハジメ末マタ甲カウ外ガイ中チュウ合カフさし入イレへさしとの乞カク格カクすくひ。

村ムラ上ウヘ義ギ法ホウ方ホウを。みりみり。筋スネ乃ノ信シノ。信シノ訪ハツを。た。

為ナシ筋スネ。あ方ホウより。人ヒト数カズ。千チ百ヒャク。越セ時トキ信シノ。

より。あつみ。みり。筋スネ。八百ヤク。筋スネ。

お出イデて。村ムラ上ウヘ。筋スネ。筋スネ。筋スネ。筋スネ。

是コトも七ナナ。筋スネ。筋スネ。筋スネ。筋スネ。

六月ムツキの辰タチの別ワケ。筋スネ。筋スネ。筋スネ。筋スネ。

を討ウチつ。筋スネ。筋スネ。筋スネ。筋スネ。

と申ウチ也ヤ。筋スネ。筋スネ。筋スネ。筋スネ。

この別ワケ。筋スネ。筋スネ。筋スネ。筋スネ。

を討ウチつ。筋スネ。筋スネ。筋スネ。筋スネ。

の。筋スネ。筋スネ。筋スネ。筋スネ。

と申ウチ也ヤ。筋スネ。筋スネ。筋スネ。筋スネ。

。筋スネ。筋スネ。筋スネ。筋スネ。

と申ウチ也ヤ。筋スネ。筋スネ。筋スネ。筋スネ。

也ヤ。筋スネ。筋スネ。筋スネ。筋スネ。

。筋スネ。筋スネ。筋スネ。筋スネ。

。筋スネ。筋スネ。筋スネ。筋スネ。

更の事なす。時信る大さるし。しるしの板垣信
 たの事思ふ。きとく。おちちるし。つとて
 由應義。すのあり。く。板垣信形。P。を
 せより。能也の事。き。今。突。年。洋。く。
 能成へく。つと。と。P。より。時信る。意。を。き。
 能也。し。も。連。く。おも。若。男。あ。ま。り。に。作
 ら。く。り。し。く。攻。垣。P。より。時信る。待。と。能。り
 の。も。大。方。も。な。ま。さ。り。へ。固。持。の。大。將。の。國
 の。往。並。信。守。を。し。さ。め。能。國。を。お。の。の。り。て。父。兄
 虎。も。十。双。倍。の。を。と。ら。ぬ。し。く。信。虎。も。と。若。く。し。

て。山。産。の。子。お。も。信。虎。も。の。由。を。仍。候。し。く。娘。机
 せ。き。し。ま。り。く。或。れ。ぬ。り。科。め。若。を。と。ち
 あ。の。科。人。を。と。の。ま。り。由。成。敗。あり。し。ゆ。か。り
 賊。も。と。お。へ。し。若。も。無。と。毎。る。し。く。印。分。の
 事。由。被。も。入。り。若。も。一。度。並。し。の。候。し。も。事
 本。し。由。被。を。下。り。忠。意。を。切。り。度。を。と。科
 な。り。し。頭。を。り。き。せ。り。様。も。あ。り。し。く。若。の。事
 あり。由。は。並。候。信。虎。も。の。由。を。と。ゆ。か。り。又。も
 て。ま。り。由。を。と。ゆ。か。り。の。事。時。信。る。二。年。も。た
 ざ。り。し。由。を。の。事。信。の。事。を。す。し。て。じ。め。り

山産の子おも

更の事

せき

一。つとむるひも信虎公の百双信も。大將の
 直虎の。と。し。り。り。事。山。立。服。く。板垣。水。女
 敗。付。て。も。む。西。馬。の。と。死。す。討。死。仕。る。と。存
 ぞ。ら。な。る。と。と。中。上。事。の。時。信。公。う。こ。し。く。會。得。ま
 ぬ。板垣。信。形。を。ゆ。後。取。へ。る。は。も。く。後。決。を。か
 け。後。決。を。あ。そ。も。し。り。無。引。後。を。あ。そ。し。た。き
 新。儀。天。文。八。年。己。亥。十。一。月。朔。日。時。信。公。十九。歳
 の。時。也。其。時。多。く。信。公。地。を。と。り。待。て。首。の
 ち。を。中。上。あ。り。し。り。部。の。名。心。識。の。序。を。あ。り。し。と
 多。う。中。上。と。之。な。り。心。件。

甲州賢太守武田晴信公者本朝射
 騎之名一而堅其表武勇才藝之
 譽聞于世者久矣雪螢之學火牛之
 策今軍胤田單也可謂名一下無厘焉
 遠近望風服其威矣爰有一禪衲深
 受太守之知今春錫衣出洛入甲獻
 壽於邦君遲留有日竊騰賢守之作
 什一編以歸意在誇說于洛下風騷
 諸客者可知也蓋到家說項斯之比
 次介子其人需予之序以稱賞焉雖

謝不能請而不允矣凡詩道之與也
舊矣周詩三百五篇源于一南二雅
以來浸爛乎漢晉唐宋為吟風弄月
約花舞葉之徒陷皆是也其餘波
溢歸吾東海而作詩韻之測海為文
字之江河矣於是緇素之流倒詞源
於三峽之水爭文光於一天之冰以
至蟬噪蛙吟蜂腰鶴膝之衆躄輩出
不可勝紀雖然獨步作者之間或者
古來李杜蘓黃而已此四君者諸壇無

敵之騷將也今十有七絕之佳作擬
風易俗以為述作本則十五之國風
二雅之正風歲以加焉又比老杜夔
峒十絕歌老蘓濠桐七絕詠則足下拖
工部之袂拍翰林之肩焉豈不奇乎
且又用武事作文事也六之偃月者
文陣也策陣也紫潭清兮湯池深玄
烟凝兮烽燧舉一揮之間智淬白刃
詞森霜鋒百萬甲兵發於自胸中則
武庫韓白為之卷旗戰國曹劉為之

新甲寸鐵不施千里決勝者在武田

式一將之戰功而已也謾畫土首贅

雅薰之首云

萬年葉巢楚拙妙安子

新正口號

淑氣未融春尚遲霜辛雪若豈言詩

此情愧被東風吹吟新江南梅一枝

又

風送鶯寒意結加梅邊吟履月橫斜

因思香雪齋前夜春若有情吾約花

鳥語花中管絃

危入繁花香管絃提壺勸酒共留連

新翻一曲芳春調數轉黃鶯古寺前

春山如笑

簷外風光分外新捲簾山色惱吟身

孺顏亦有蛾眉趣一笑靄然如幾人

古寺看花

紺藍紫霞不深紅花下吟遊勝會中

身上從教詩破戒舉盃終日醉春風

惜落花

樽外紅殘三四峰蜂狂蝶醉景猶濃
遊人亦借漁翁手網住飛去至晚鐘

春去夏來新樹邊綠陰深家此留連
尋常性癖耽閑談不愛黃鶯啼杜鵑

庭下留春曉露濃淺紅深出又深紅
清香疑自昆明國吹送薔薇院落風

滿院薔薇香露新雨餘紅色別留春
風流謝傳今猶在花似東山縹緲人

旅館曉鵲
空山綠樹雨晴辰殘月杜鵑啼夢頻
旅館一聲歸思切天涯瞻戀蜀城春

閏月送
妖艷紅花出壽安風光閏月興猶殘
騷人夢見十三葉未在家黃牡丹

便面蘆間有漁
山色水光烟接天漁翁江上棹蘆邊
丹青若寫得勝景萬里風波一釣船

甲陽軍鑑九上

甲陽軍鑑九上

甲陽軍鑑九上

便面有鴈

水綠山青欲雨初，數行鴻鴈懸長虛。

天涯高處要通信，定可蘓鄉胡地書。

便面水一仙，梅花不亦秋。秋意黃一草，

風送清香寂寞濱，誰云携酒又逡巡。

与梅胡有弟兄，約黃一玉花，開一樣春。

便面半月照梅送，

昏月橫斜欲夜時，梅花秀色似臙脂。

湖山疎影茂陵藁，凉水風標元祐枝。

便面蘆間白鷺，

蘆葦清風垂項絲，鱖魚白鷺水生涯。

江南記得曾遊，夕似見梨花院落時。

寄懷列僧

氣似收陽九月望，三冬六出洒朱欄。

多情尚遇風流客，共對士峰吟雪看。

龍寶山宗，佐首座，予忘年友也。一日

過予，出一詩卷，曰：是吾檀越甲刻。

賢使君所作也。葉巢老師序其首，翁

跋其尾，分不亦幸乎。予曰：狗尾難續。

貂况又昧其素，再三辭焉，使君家譜。

公且記言一二其先新羅氏奉朝
 命賜旗曹以討真任宗任之凶賊矣
 重賞之下有勇夫者也以兵器迄今
 為家傳至寶也爾來以武為家業宜
 哉武由之為名也今云賢守晴信公
 政事暇崇禪教好詩文日課西域最
 勝王經晨拜小野自在神像禱爾國
 家清平故提封益固人民弥康沛然
 德教溢乎四境矣然此詩也為求傳
 家稱許寫來云云之志氣不可峻作

焉予於是乎之吟玩不知所止
 也嗚呼近世儒流次無此作何圖形
 名之家復觀此佳篇奇吏詩者以唐
 為盛詩法源流自李杜至張孟舉十
 七家曰各有一跡此十七首擬作之
 者乎又建安能者惟七大曆才子推
 十并以為一者乎蓋十者陰教之極
 也終而又始七者陽教一變而為七
 律陽合萬物生自十七篇而後十章
 萬句積成累篇鉅軸者拭目可待焉

可謂今代風騷將也。孔子曰有文章者必有武備。有武事者必有文備。古亦云。今亦云。可嘉尚哉。

天文九年林鐘月

前龍山睡足。叟集堯書。

甲陽軍鑑忠孝二十。信列海虎合我之書。

天文九年庚子正月大元日甲午

一月十六日。板垣信形。皆昭とあり。信列海虎の侍と。晴はる。海虎の城と。

晴はる。をよ。と。海虎の城。小山田清中。二

のく。日向大和守。三のく。長坂た。東の。

き。を。采。も。り。な。城。入。儀。也。板垣信形。敵。面。

共。の。利。倫。水。守。小山田清中。二人。團。も。る。と。

て。小山田清中。團。も。る。と。り。な。城。も。る。と。

つ。通。い。も。る。と。り。な。城。も。る。と。り。な。城。も。る。と。

も。る。と。り。な。城。も。る。と。り。な。城。も。る。と。り。な。城。も。

教。も。る。と。り。な。城。も。る。と。り。な。城。も。る。と。り。な。城。も。

又。通。儀。を。り。り。村。上。大。敷。と。り。な。城。も。る。と。り。な。城。も。

も。坂。左。邊。の。日向大和。城。も。る。と。り。な。城。も。る。と。り。な。城。も。

ま。を。甲。丹。へ。向。く。敵。志。入。海。中。の。あり。つ。と。り。な。城。も。

なまはらひしむらひ一たぢを晴信にさしりし
湯のひのしむらひにさしりし旗中ひくし
然るにさしりし七十年の人数とりて
月晦日美濃守の刻日敵三百十二討斬也
はみぎを時河と初めて越後守よりいれは
うらむし。二月初海津あり信州海尻合戦
とむらむもや時信云女歳の山河は合戦も旗中
をのりて勝利をゆるぎしに
甲陽軍鑑九上
甲州にありし合戦
天父九条廣子二百八小朝日甲子

一月十八日辛巳。信州村上方の結方將高橋
高繁井上陽田ひらたをあきとしく部合二千
五百ありし人数多く甲州にありしあきと
てどをいそいで勝拂ちりしとてさしりし
しむらひして地國勢ありし自由なるす時
信云。此戦ありしを筋地下人。そのまじり
者いふ。おのひ。又是も旗中ありし。十八日成の
村兼合戦。さしりしをりて勝利也。是や多
田二八と申す。時信云。この甲州上方の村上方を
る。海尻をいして。敗軍し。は勝りし存あり

上義清あへのきくやぶのる。是に依り働か
 ずし。は様。大將村上や海虎城小田守
 守を能く。うら。ひ。入。糸。留。後。の。海。文。敵
 本。の。存。分。を。流。り。の。中。に。ま。ま。し。ん。ま。め。う。ら。せ。れ。た。時
 信。え。も。り。わ。は。佛。を。訪。り。就。中。と。し。月。海。虎。を
 待。利。を。ぬ。く。程。力。強。大。中。に。は。り。も。法。會。評。定。終
 て。も。う。て。出。向。ひ。の。ま。ま。し。ん。信。列。へ。り。り。海
 虎。を。く。を。れ。の。世。報。と。お。上。義。清。へ。中。へ。ま。し。も。存。心
 こ。ら。し。め。ま。し。く。ま。つ。ま。し。ん。と。つ。の。ら。し。め。る。し。報。の。中
 よ。り。し。る。中。へ。ま。教。へ。く。の。あ。し。り。つ。て。一。合。氣。を。そ

多。回。に。は。流。り。の。ま。ま。し。ん。の。つ。て。時。は。信。む。信。大。將。を。ま。ま。し
 多。回。の。ま。ま。し。ん。の。つ。て。時。は。信。む。信。大。將。を。ま。ま。し
 う。ら。し。め。ま。し。く。ま。つ。ま。し。ん。と。つ。の。ら。し。め。る。し。報。の。中
 や。ま。も。教。敷。軍。に。り。地。雷。流。り。つ。て。味。方。の。ま。ま
 自。由。に。ま。ま。し。ん。の。信。列。を。対。し。中。に。ま。ま。し。ん。の。あ。し
 難。し。も。ま。ま。し。ん。の。七。十。二。の。ま。ま。し。ん。の。帳。を。り。つ。て。子
 の。對。將。對。敵。と。る。ま。ま。し。ん。の。ひ。の。ま。ま。し。ん。の。ま。ま。し
 を。我。の。り。も。ま。ま。し。ん。の。信。む。信。大。將。の。山。村。甲。列。の。あ
 ま。ま。し。ん。の。ま。ま。し。ん。の。ま。ま。し。ん。の。ま。ま。し。ん。の。ま。ま

守^{カミ}はばたきお多^{タカ}。甲國^{カミ}を。後^ノ徳^{トク}守^シ人^ニ信^シ虎^ト公^ノの^シ式^{シキ}
 あり。是^レ程^ニ大^ニ將^ヲを^シ侍^シ。は^ハ前^ニ以^テ候^ルも^ト。亦^モな^クな^リ
 り。信^シ列^シ之^レ信^シ云^フ。侍^シ子^ノ入^リて。屋^ノ空^ク藏^シ山^ノの^シ
 城^ノに^シて^モ。多^ク田^ノ侯^ノを^シ揚^シ並^ニか^ク。多^ク時^ノ鬼^ノ城^ノ切^リ
 子^ノら^ニ大^ニ田^ノの^シ茂^ク篇^ノ者^ノや^シ子^ノ息^ノも^ト。淡^ク治^シ守^シ。を^シ
 り^ノ茂^ク篇^ノ力^ノ人^ノか^クり^ノ。茂^ク篇^ノ力^ノ人^ノか^クり^ノ。
 天^ノ文^ノ十^ノ年^ノ辛^ノ丑^ノ。其^ノ夜^ノを^シ歲^ノ中^ノも^ト。敵^ノ味^ノ方^ノと^シ
 も^ト。信^シ目^ノの^シ仕^シ。を^シく^ク。公^ノ教^ノを^シ是^レも^ト。信^シ海^ノ
 鹿^ノと^シ。る^ル。山^ノ村^ノ田^ノ。或^シも^ト。つ^ク。さ^ク。物^ノを^シま^クり^ノ。書^シ
 手^ノの^シ能^クも^ト。是^レ程^ニせ^リり^ノ。の^シか^クり^ノ。と^シ。と^シ。

甲陽軍鑑不中サ六。甲信境。せ。公教。事。

一 天文十一年。壬寅。二月中旬。信濃の国。大田。茂

小田。原。初。訪。頼。茂。村。上。義。信。本。居。茂。田。中。公。甲

列。茂。田。時。信。云。遊。治。し。こ。も。へ。き。と。の。話。儀。入。事。

甲。并。へ。し。し。も。茂。田。の。家。老。板。垣。信。形。敵。首。出。り

陣。村。信。家。法。角。多。く。信。加。守。守。日。白。大。和。守。を。か

皆。く。家。老。の。是。程。大。將。多。く。矢。切。者。の。茂。篇。者。お

し。の。上。様。に。此。の。書。状。の。つ。て。時。信。云。公。孫。の。よ。う。を

一 書。し。

一 駿。列。義。元。云。へ。侍。お。り。て。義。元。の。由。馬。出。出。さ

一 多くの兵士を遣はし、人数一万の兵を動かす。

一 海尻の城をとり、お山田備中、お山田丹後守を

も、甲斐國中へ、お山田守備を、お山田守備を

ひくや、敵寇のついで、甲斐守も、お山田守も、

とへ、お山田守の、お山田守の、お山田守の、

一 勝利、お山田守の、お山田守の、お山田守の、

一 敵寇、お山田守の、お山田守の、お山田守の、

一 お山田守の、お山田守の、お山田守の、お山田守の、

一 お山田守の、お山田守の、お山田守の、お山田守の、

一 お山田守の、お山田守の、お山田守の、お山田守の、

一 お山田守の、お山田守の、お山田守の、お山田守の、

一 お山田守の、お山田守の、お山田守の、お山田守の、

一 お山田守の、お山田守の、お山田守の、お山田守の、

一 お山田守の、お山田守の、お山田守の、お山田守の、

一 お山田守の、お山田守の、お山田守の、お山田守の、

一 お山田守の、お山田守の、お山田守の、お山田守の、

一 お山田守の、お山田守の、お山田守の、お山田守の、

一 お山田守の、お山田守の、お山田守の、お山田守の、

一 お山田守の、お山田守の、お山田守の、お山田守の、

甲斐軍盤丸上

ナニ

功の大將にれむ。我族下は仕中りする。素を
又義元よ。この年おとるより人の族下をまんとむ
まを治るる。さなり。あつ。処。加勢をあらひ
ひり。我おを。義元入のむ。下。宛。加勢をこひ
信ともあつ。な。む。り。人。實と。せ。推。も。
我お。あつ。の。さ。な。く。や。老。の。あ。か。め。か。か。し。こ
ま。ま。入。さ。な。く。P。は。付。て。人。數。を。評。あ。う。れ。を
あ。る。を。あ。る。この。族。下。は。仕。て。の。儀。なり。義元は
お。お。り。年。兄。なり。困。も。駿。河。を。列。三。の。二。テ
國。法。句。を。列。織。田。孫。正。を。な。し。て。後。府。へ。出。は。し。し

り入る。尾列へもがや。よと。怒。く。ま。く。う。が。どの。地
あり。お。條。氏。康。より。妹。子。妹。後。府。へ。人。質。し。義。元
さ。怒。く。あ。ひ。の。処。へ。加。勢。あ。ひ。ひ。り。我。お。を。義。元。入
族。下。は。宛。さ。り。と。世。間。の。お。ゆ。決。り。て。や。こ。来。り
あ。つ。あ。つ。と。り。た。た。と。る。ま。く。う。ま。く。一。度。も。義
元。の。族。下。より。出。さ。り。と。後。を。三。尾。の。お。を。約。ま。す。
よ。い。ま。り。し。も。信。元。あ。つ。る。も。ま。よ。父。信。康。の
後。府。も。あ。つ。く。入。り。た。父。の。あ。い。ひ。ま。く。う。あ。つ
つ。も。い。ま。も。無。念。な。れ。ば。駿。河。の。王。加。勢。の。後。中
中。四。い。ま。あ。つ。く。い。ま。く。い。雨。論。が。國。少。人。數

そのついで。大國大敵コクも。もるまうく。うらう。大申と。更
 及ヒ。いづれ。い。は。捷ト。を。り。つ。て。後利ゴリ。を。印シ。ら。る。ら。う。
 夫の地サ。は。は。ら。り。是。を。信濃ニチノ。より。南國ミナミ。へ。は。急カ。申
 なれ。し。あ。ら。う。く。を。急敵カク。あ。ら。う。く。を。約ヨク。味ミ。方カタ。は。文
 我ワ。お。や。比ヒ。氣キ。な。り。五。年コノカケ。に。来。度タビ。も。南。方ミナミ。よ。あ。ふ
 て。後利ゴリ。を。失シ。く。ら。う。人ヒト。と。訪ス。頼カ。辰チ。本ホ。當トウ。小。並コナリ。為。
 お。上ウ。西。人サイ。何ナニ。と。申。合アヒ。の。と。も。誰タレ。と。大。將ダイシヤウ。も。は。る。後
 申ウ。ま。う。く。評ヒヤク。伐ツキ。あ。ら。う。く。も。う。し。つ。ま。う。く。一。海ウミ。味
 方カタ。の。合アヒ。戦セ。は。う。く。い。て。後利ゴリ。衰ウツ。ち。し。と。南。方ミナミ。よ。あ。ふ
 け。ら。り。と。う。ら。う。く。も。一。入イ。江エ。を。う。ら。う。く。と。う。ら。う

て。信濃の國ニチノ。より。一。軍イクサ。の。す。ら。し。七。十。人ナナジウヒト。の。面オモ。より。
 申ウ。人ヒト。長ナガシ。も。ま。う。く。や。ら。う。く。者モノ。と。う。く。ひ。出イ。し。妻メ。子コ。と。人
 備イ。へ。も。ら。う。も。利。備リビ。あ。ら。う。十。人ジュウヒト。飯。沼イハノヱ。共。部トウ。十。人ジュウヒト。板
 垣イタ。信。形シノカタ。十。人ジュウヒト。石。三。十。人イシサウジウヒト。人。質ヒトシ。と。二。処ニトコロ。よ。あ。つ。あ。
 さい。し。ま。う。く。あ。つ。し。申ウ。人ヒト。と。お。上ウ。方カタ。へ。十。人ジュウヒト。輕。原ヨリノ。方カタ。へ。十
 人ジュウヒト。小。並コナリ。と。あ。ら。う。へ。十。人ジュウヒト。後。越。捷ゴシヤク。子コ。を。い。し。と。し。二。人ニヒト。つ。
 君。歸キミカエ。此。方ココ。より。出イ。む。し。ひ。の。約ヨク。も。申ウ。わ。ら。う。く。と。う。ら。う。し。申
 也。又。敵。地テリ。へ。急カ。越ト。う。く。と。時。信トキノ。也。と。う。ら。う。し。申ウ。と。う。ら。う。し。申ウ。
 印。付イハ。く。ま。指。越サシ。の。人ヒト。物。又。申。列。信。列シノリ。遠。目トホメ。と。う。ら。う。く。と。
 人。質ヒトシ。が。あ。ら。う。板。垣。其。利。飯。沼。三。人サンヒト。の。約ヨク。大。將ダイシヤウ。の。

味方一倍は積りも一万六千の味方一人
 敵二人ありしはひますれはひ方を地味に
 する。敵の合戦なり。その中一は信訪の頼茂と
 上義清を切つてしりし。ある小笠原の
 直大將をそのまゝにおぼしめし。そのあを
 こそおぼしめし。と下つてしりし。ある時、打
 めりし。或はむ川をこし陣をとり人殺し下り
 ちし。一人もく。三人おありし。人を殺す
 打ちあひく。お底の刻。軍初と日清。と。次日
 戦あり。甲州城一掃もなす。と敵のし

仕え。あるより。軍かさね。お見携りる物なり
 ぬ。二対洋のうら。九度。さし。ひあり。信訪
 あり。飯田。村上。新。浦。坂垣。形
 小笠原。お。山。田。長。束。清。義。中。味
 くつ。あ。す。け。の。名。大。將。の。中。一。は。信
 濃。九。度。の。戦。より。と。さ。す。人。と。討。て。も。肉。り
 さい。の。張。り。お。お。と。あ。度。一。つ。は。上。九。度
 の。戦。一。頭。張。り。と。中。一。は。信。義。濃。守。母。成。つ。り
 の。時。信。五。の。父。信。虎。の。目。利。一。は。信。義。濃。守。を
 十。度。の。合。戦。あり。と。十一。度。も。あ。し。と。ゆ。く

どくが揚入もころろ。おろくの候もく。まりのき
合戦し。鏖戦の症。六処。身をりろ。や。是を四十六
歳の時や。合戦。天文十一年壬寅。初二月九日。
辰の刻。甲列方より。軍始。未の刻。終る。
信濃。戦を。おと。り。敵。十六百。一ノ類。戦。
り。つて。勝。時。を。お。こ。ろ。ひ。の。未。方。も。子。を。ひ
死。人。あ。ま。り。り。敵。首。六。甲。利。備。あ。り。負。た。り
せ。さ。の。合。戦。と。い。は。し。や。信。玄。公。女。に。歳。入。の。時。あり
甲陽軍鑑。不。弟。女。二
信。初。平。次。大。門。に。お。よ。ぶ。合。戦。之。也。

一 天文十一年。初二月九日。信列の大將。勝利を
去。ひ。を。くれ。と。こ。ろ。中。ま。り。矢。功。老。の。大。將
を。り。と。い。は。し。し。ゆ。ひ。の。如。し。時。は。信。玄。公。二
歳。に。ゆ。り。も。う。す。の。時。殺。り。と。し。十。の。六。七
も。家。老。は。り。へ。く。い。さ。ら。く。信。虎。は。来。り。矢。丹
練。士。は。首。老。を。別。つ。こ。ろ。に。さ。う。を。信。濃。を。二
部。の。大。將。を。れ。ひ。合。て。赴。し。甲。列。四。郡。の
人。を。二。千。一。り。り。み。こ。あ。り。さ。き。の。一。は。ら。り
中。し。も。は。ま。り。だ。く。甲。中。へ。へ。く。の。て。合。戦。は
り。し。時。は。信。玄。公。の。時。あり。

甲陽軍鑑七

八

王或をうへ田をある。新を毛地をうり。其出
 らく。故を比下も。困窮をきうひひ。付
 て。村上攻めたる。あ。い。る。梅。あ。ら。あ。
 甲列へ。働。妻。田。攻。飲。多。と。や。さ。押。ひ。様。様。
 うりて。海。底。海。野。の。城。守。て。揚。を。う。り。小。山。田。内
 中。小。交。山。南。坊。大。将。を。攻。め。賊。を。毎。さ。き。う。り。又
 を。腹。さ。う。り。う。り。二。つ。も。一。つ。を。さ。れ。う。り。各。お。上。攻
 る。中。も。比。せ。多。清。の。山。馬。城。出。う。り。も。一。い。を。さ。る。
 り。も。う。り。て。然。へ。く。い。き。子。細。を。さ。二。月。九。日。う。り。
 味。方。敗。軍。は。つ。と。南。方。の。山。人。數。を。難。と。せ。う。り。二。る

少。少。餘。う。り。さ。く。う。り。た。さ。の。と。多。清。の。公。を。攻。め。と
 中。が。と。の。後。う。り。も。無。之。甲。列。も。其。利。南。坊。飯
 高。兵。部。を。二。月。九。日。の。合。戦。も。負。う。り。と。あ。り
 の。事。し。は。事。必。定。し。を。ひ。う。り。成。田。攻。め。き。子。
 磯。子。必。此。も。負。中。さ。し。甲。列。の。國。中。へ。働。く。見。
 味。方。防。を。あ。り。う。り。う。り。様。子。を。つ。と。う。り。ひ。い。
 一。は。右。攻。中。を。う。り。う。り。村。上。攻。め。馬。を。お。さ。ま。
 七。海。底。力。小。山。田。小。交。山。を。せ。め。の。ひ。ん。換。り。と。後
 合。戦。て。部。合。と。敵。二。千。五。百。の。者。あ。り。う。り。て。故
 三。月。十。日。う。り。う。り。の。城。を。た。り。て。甲。列。方。へ。働。ま

あり。小山田備中。をさへて。龍運ヨウラクキて。わづみにさ働ミテハカラま
仕ツカガテ通カクる。返カヘ。甲斐の場サカ。平次ヒラサハ。押オシを。と。ら。さ。て。又
甲斐ケイを。ひく。晴ハルに。な。す。後キと。や。り。て。改カイる。
あれた大将トウ。ま。あ。ま。ひ。な。敵方テキカタの。む。せ。と。さ。う。る。の
ひ。を。と。れ。り。月九日の合戦ゲツクウノカウゼン。我ガ家カ。ま。く。せ。し。張チヤウは。つ。
軍イクサの。備ホイ。あ。飯イヒ。百ヒャク。兵ヘイ。あ。り。は。つ。を。さ。す。と。働ハカラ。し。も。
と。は。り。ら。ま。り。に。は。つ。出イ。び。は。り。て。勝カツ負マカ。の。こ。さ。す。し。を。
ま。あ。り。信シユン。を。家カ。老ラウ。の。か。か。と。敵テキ。ま。あ。り。の。由ユ。を。つ
の。う。ま。い。我ガ。あ。が。か。に。さ。り。あ。ら。う。つ。さ。う。の。様ヤウ。も。し。ら。ま。さ。
と。敵テキ。ま。あ。り。し。ら。れ。り。し。も。ま。さ。さ。る。う。つ。の。九ク。つ。を。小コ山ヤマ

田タ備ヒ中チユウ。小コ山ヤマ丹ニ後ゴ。あ。人ヒト張チヤウ。せ。の。あ。ら。う。ら。あ。り。ん。い。の
て。り。晴ハルに。信シユン。を。合カ。戦ゼン。を。あ。ら。ぬ。度タク。は。治チ。り。の。勝カツ利リ。を。
ま。あ。り。て。う。り。ま。と。あ。ら。ぬ。あ。ら。う。ま。あ。り。て。あ。ら。う。ま。
張チヤウ。を。つ。く。ら。ま。あ。り。し。の。大ダイ。將シヤウ。あ。ら。う。の。よ。う。ひ。な。ま。あ。り。
う。の。う。ま。い。は。つ。て。の。大ダイ。將シヤウ。あ。ら。う。の。張チヤウ。を。つ。く。ら。ま。あ。り。し。の。
な。り。に。あ。ら。う。の。勝カツ。を。ひ。く。ら。あ。ら。う。の。様ヤウ。も。し。ら。ま。さ。
一イツ。戦セン。を。と。り。の。勝カツ。利リ。を。あ。ら。ぬ。ま。あ。り。て。あ。ら。う。の。よ。う。ひ。な。ま。あ。り。
と。自ジ。力リキ。を。あ。ら。う。の。勝カツ。切キ。甲ケ。斐ヒ。へ。あ。ら。う。の。よ。う。ひ。な。ま。あ。り。
指ササ。さ。り。し。の。勝カツ。を。あ。ら。う。の。よ。う。ひ。な。ま。あ。り。て。あ。ら。う。の。よ。う。ひ。な。ま。あ。り。
日ニチ。あ。ら。う。の。よ。う。ひ。な。ま。あ。り。て。あ。ら。う。の。よ。う。ひ。な。ま。あ。り。て。あ。ら。う。の。よ。う。ひ。な。ま。あ。り。

八幡宮へ社系ありて。新橋ありて。其地也。
 打ちのりをして板垣信形日向大和。藩角をなす。
 人の中より日向大和。國にありし。いよひあり。
 後述す。時を以て。山母方の伯父山改。二病を治す。
 て。筋骨といふ。この人。夜を月の合致。り。お苗守
 者。なむ。し。く。し。く。を。し。く。を。非。所。を。無
 を。い。ち。り。て。出。か。ん。ん。時。信。を。信。り。り。を。あ。ち。者
 じ。く。く。果。が。も。な。れ。し。う。も。人。を。さ。む。易。き。人。と
 い。ひ。病。中。と。も。を。て。我。お。村。死。も。を。し。く。を。苗。守
 の。威。ま。る。く。た。島。人。を。も。つ。ま。て。の。人。へ。し。と。ゆ。ら

我。お。し。た。山。伊。豆。守。と。し。て。し。ら。さ。む。い。れ。つ。う。も
 な。む。し。く。を。守。り。て。其。利。倫。が。飯。苗。守。の。人。と。言
 や。て。し。く。人。の。い。ふ。も。つ。て。あ。ひ。く。り。し。と。い。ふ。人
 志。し。く。人。を。守。り。て。し。く。を。あ。ち。と。し。上。野。内。の。小。山。田
 方。へ。も。我。お。と。し。て。死。時。を。し。て。あ。い。の。泣。く。思。ひ。て。り
 お。く。も。し。く。も。あ。れ。あ。る。布。の。靴。中。系。能。な。れ。は。新
 つ。き。の。衣。袋。と。も。や。ら。し。下。着。の。巾。を。是。な。り。あ。屋。形
 横。の。か。り。替。や。人。し。と。く。金。打。成。る。を。指。入。と。な。て
 申。し。ま。す。と。い。ふ。お。苗。守。の。人。と。い。ふ。い。れ。の。人。と。い。ふ。人
 申。し。て。い。ふ。と。い。ふ。人。と。い。ふ。人。と。い。ふ。人。と。い。ふ。人
 申。し。て。い。ふ。と。い。ふ。人。と。い。ふ。人。と。い。ふ。人。と。い。ふ。人

ろとし。備くまの里あり。山攻へくさま。二枚垣
 三枚中。右左角也。後右日向左和。後うら典鹿そ
 のら。さうみで城。サ日知の半。打ちて。一対の内
 一。千の里のさ。さ。わのうりて。平決へこの割の少
 お。を。つ。あ。二。子。あ。ま。る。の。敵。を。建。置。し。
 難。き。も。一。百。十九。討。死。日。午。の。割。勝
 時。を。祝。お。こ。る。ひ。の。あ。は。し。一。戦。を。死。者。二。も。出。放
 中。と。こ。も。さ。く。お。さ。ま。い。の。子。ね。う。お。入。る。を。働
 う。う。軍。法。の。さ。う。の。あ。う。う。入。張。乱。さ。す。ま。を。ま
 町。が。う。り。が。つ。軍。法。の。能。い。持。あり。さ。く。文。十。一。年

壬寅後二月廿日辰の半。一。戦。始。ま。る。午。の。割。一
 次。平。決。合。戦。を。さ。か。り。空。山。の。も。負。お。か。し。是
 を。時。信。ふ。サ。二。歳。入。時。也。

右。文。十。一。年。壬。寅。後。二。月。廿。日。信。列。更。級。首
 尾。の。あ。し。義。信。殺。な。す。甲。信。の。場。平。決。ま。を
 ひ。く。時。信。ふ。道。ち。う。の。い。ま。を。取。ち。平。決。う
 道。苗。が。と。あ。つ。つ。サ。一。日。の。信。列。中。傳。り。れ。あ。ふ
 サ。一。日。の。こ。り。割。一。甲。列。郡。内。の。小。山。田。左。兵。衛。平。決
 る。糸。の。様。子。を。利。兵。衛。の。敵。苗。共。の。あ。あ。の
 の。心。ひ。と。し。城。ニ。ツ。も。り。あ。ツ。を。さ。つ。れ。ツ。を。甲

りる。屋形様。廿二歳。ゆ。まを。老功の大将
 なる。多。之。改。る。岩。山。を。も。た。せ。二。日。よ。つ。あ
 子。出。陣。陣。ま。へ。ま。と。陣。ま。へ。つ。又。皆。く。首。老。家。
 中。さ。う。か。い。を。そ。う。う。海。底。ま。ぐ。ち。は。十八。つ。ま。う。く。の。あ
 ち。へ。あ。る。と。あ。ら。れ。は。目。の。は。五。つ。あ。い。ま。し。え。ぬ。お。陣
 陣。あ。ま。し。と。し。と。せ。と。ま。し。ゆ。と。ま。し。ゆ。合。わ。ら。し。各。中。後
 ち。よ。な。し。と。し。と。し。郡。内。の。小。山。田。は。岩。山。を。は。て
 廿一日。よ。つ。あ。ら。れ。一。戦。の。時。も。人。数。多。戦。な。れ。や。も。
 時。信。ふ。由。様。嫌。あ。く。ち。あ。て。サ。る。よ。ち。の。の。い。る
 へ。の。廿二日。甲。身。へ。着。の。ひ。車。は。八。幡。へ。結。糸。あ。ら。

ち。一。も。日。よ。つ。あ。ら。れ。目。の。は。五。つ。あ。い。ま。し。ゆ。は。嫌
 よ。ら。ら。び。一。く。上。下。ま。し。と。あ。ら。つ。ま。う。解。な。れ。ら
 甲。列。一。国。の。人。く。上。下。皆。皆。町。人。百。姓。も。も。も。松。あ
 じ。五月。あ。ま。の。山。一。戦。の。勝。の。人。た。し。屋。形。様。由。様。嫌
 出。度。め。て。遙。乱。疾。由。能。か。じ。目。見。物。も。あ。へ。ま。と。信
 人。の。は。ま。の。の。か。一。使。隠。候。や。板。又。敵。方。も。も。松。あ
 ち。は。方。の。領。子。様。拂。小。城。の。一。つ。も。一。つ。も。致。あ。と。し。こ
 ち。し。と。思。ひ。信。ふ。よ。の。年。こ。来。あ。ら。し。信。濃。の。軍
 列。も。同。晴。候。よ。負。て。殿。を。と。く。時。信。あ。大。将。を
 建。て。城。の。つ。く。お。さ。つ。ま。う。切。る。へ。ま。と。あ。の。か

お様るゑも。不^レ思^キ後^キなり。と。も。を。ゆ。は。も。あり。
又。一。日。の。時。に。あ。大。将。と。し。て。軍。を。さ。す。も。も。
ら。ま。り。し。と。い。ひ。の。と。う。を。し。め。り。を。
く。し。し。平。比。の。防。戦。を。さ。し。と。う。を。さ。す。も。も。
を。さ。す。も。も。と。し。て。母。の。死。を。さ。す。も。も。
さ。す。も。も。と。し。て。以来。能。く。し。と。う。を。さ。す。も。も。
信。員。と。し。し。と。う。の。批。也。も。あ。り。又。し。し。と。う。を。さ。す。も。も。
界。神。の。様。を。り。又。は。鬼。を。押。入。し。も。ね。信。切。也。
齊。の。勝。し。し。と。う。の。あ。ま。り。の。も。も。と。う。を。さ。す。も。も。
の。話。を。し。し。と。う。の。あ。ま。り。の。も。も。と。う。を。さ。す。も。も。

神。の。い。し。と。う。の。あ。ま。り。の。も。も。と。う。を。さ。す。も。も。
引。平。の。及。威。と。村。上。の。役。も。あ。ま。り。の。も。も。と。う。を。さ。す。も。も。
ま。極。付。し。し。と。う。の。あ。ま。り。の。も。も。と。う。を。さ。す。も。も。
た。小。の。さ。地。の。を。く。し。し。と。う。の。あ。ま。り。の。も。も。と。う。を。さ。す。も。も。
か。さ。し。し。と。う。の。あ。ま。り。の。も。も。と。う。を。さ。す。も。も。
さ。し。し。と。う。の。あ。ま。り。の。も。も。と。う。を。さ。す。も。も。
た。く。ぬ。く。し。し。と。う。の。あ。ま。り。の。も。も。と。う。を。さ。す。も。も。
い。し。し。と。う。の。あ。ま。り。の。も。も。と。う。を。さ。す。も。も。
た。と。さ。し。し。と。う。の。あ。ま。り。の。も。も。と。う。を。さ。す。も。も。
あ。国。の。守。小。條。氏。康。と。ま。田。時。清。は。と。う。の。あ。ま。り。の。も。も。と。う。を。さ。す。も。も。

日易直益七

大將を討てて。國々の働を。今春年を
討て。子をも。時後の。下。今。す。入。さ
る。ご。分。別。し。と。く。中。老。功。の。人。も。あり。り。上

一 六月。晴。信。ふ。天。文。十。一。年。四。月。五。月。六。月。人。數。と

左馬助。も。さ。の。あ。門。ま。い。ま。く。押。つ。の。放。也。し。

き。次。日。も。頼。茂。を。級。の。お。城。を。し。し。を。孫。こ。や

改。軍。の。末。も。く。く。し。頼。茂。し。る。の。打。越

一 六月。六。日。の。夜。より。疾。と。ま。い。れ。物。出。来。て。存。命

不。定。痛。ま。り。し。に。付。て。大。將。を。け。返。す。も。し。ふ

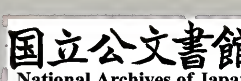
の。城。を。板。垣。信。成。人。數。を。討。つ。り。し。よ。下。二。百。餘

一 文。十。一。年。八。月。九。月。十。月。休。息。あり。て。信。成。下

備。前。飲。百。共。甲。子。癸。も。平。愈。く。の。地。中。に。る。

あやせり。乱る。のり。つ。は。下。ふ。さ。む。し。
 限る。程。お。せ。る。下。の。者。と。十九。日。
 乱る。遠。る。の。る。四。日。な。れ。乱る。
 於。日。二。日。あ。り。て。日。よ。る。ち。て。あ。
 ゆ。い。と。て。あ。せ。て。覺。し。思。儀。な。り。み。
 の。一。の。を。利。取。の。を。板。垣。敷。の。を。飯。
 弓。取。三。人。は。持。の。入。注。防。の。神。り。
 伎。山。決。を。越。て。上。夜。時。に。家。を。遠。中。
 乱る。用。と。受。も。み。三。人。な。り。我。お。家。中。
 起。る。夜。一。日。の。お。り。甲。付。ら。く。は。儀。

よ。つ。て。あ。ゆ。は。も。二。人。あ。り。三。人。あ。り。と。受。
 る。つ。も。よ。の。つ。の。儀。あ。る。あ。い。と。サ。
 日。の。物。ら。と。志。見。下。乱る。止。も。切。の。今。人。か。
 別。者。も。虚。受。実。受。と。受。し。あ。ら。も。
 ち。大。唐。も。受。あ。り。と。注。技。も。あ。り。日。
 中。へ。受。取。用。ら。し。神。国。あ。れ。あ。ら。
 後。防。の。神。の。由。者。の。受。屋。形。横。の。は。た。め。
 と。批。あ。る。無。多。別。の。あ。ら。た。ぬ。人。て。や。
 老。上。下。受。る。物。の。ち。あ。る。と。受。と。中。受。
 儀。あ。ら。と。の。者。注。あ。ら。あ。り。ひ。く。あ。り。



親はつひをりつゝ。敵の小城へも。たれむまじし。堀
 居りしに。揚言す。言ふに。はせとんと存亡城を捕
 め。味方のつゝを。縛て。あひしゆゆり。さても。つら
 の人を。親子。兄弟。叔父甥。後。おと。を。連。繋。ひ
 寄ら。り。手。取。り。た。れ。い。ま。り。人。を。又。敵。も。を。り。つ。あ
 を。つ。き。暮。の。つ。て。は。揚。言。ふ。を。報。復。す。度。は。せ。し。
 味方の。つゝ。を。縛。り。つ。つ。敵。を。討。滅。せ。さ。し。
 敵。の。を。り。つ。つ。連。繋。ひ。て。す。し。さ。度。さ。り。方。を。た。り。ひ。さ
 る。と。穿。鑿。せ。ら。し。團。な。ら。ず。ま。る。と。競。走。し。つ。つ。働。あ
 こ。し。あ。と。く。の。勝。利。を。奪。ひ。た。と。致。し。と。あ。り。後。

勝て後を。程りつて。たも。り。あ。り。さ。し。信
 濃。の。國。の。つ。つ。て。た。れ。た。ぬ。ら。り。比。佐。の。郡。ち。ひ
 本。敵。三。年。い。あ。り。自。通。ぬ。も。年。の。あ。月。未。も
 浪。馬。入。り。し。十二月。十日。甲。冨。へ。出。は。つ。て。甲。冨。正
 月。今。を。弟。を。甲。冨。へ。人。質。し。多。上。り。さ。り。い。よ
 甲。陽。軍。監。不。才。高。山。本。助。久。二。丈。并
 一。信。列。塩。虎。合。戦。の。事
 一。天文。十二年。正月。三日。甲。冨。家。老。前。打。寄。り。を
 甲。冨。中。の。時。信。濃。の。諸。族。合。り。し。事。は。訪。邦。或。佐。之
 小。縣。敵。味。方。の。勝。味。方。の。城。た。り。と。り。を。ら。り。と。

城を以て能くしをてし千の人数多く。持城を三する。天持を城の正様縋らるとちも一の奥儀多のなり。あつ城を能くし。前者後河勢をえ入流一家。考原政高入流。成居多。今川政家家臣。めとる。義をへる拘めらひ。い若き。二列一くかの持をれ。四国。中国。雲南。東。も。あ。り。さ。ま。り。も。う。ゆ。ま。く。山。中。勅。助。と。中。大。司。の。若。士。と。又。は。勅。助。を。あ。ま。の。拘。め。し。と。坂。垣。信。形。時。に。あ。へ。中。上。ら。り。り。付。て。あ。の。方。之。の。物。束。と。し。と。あ。ん。年。三。月。駿。河。より。勅。助。を。あ。り。せ。ら。れ。お。礼。を。た。げ。し。く。は。座。も。時。信。云。佛。り。を。き。勅。助。を。一。眼。を。あ。げ。怒。負。く。人。も。い。も。ち。や。不。自。由。と。あ。て。なる。又。あ。り。ろ。く。あ。の。ま。男。り。く。あ。ま。り。か。あ。い。そ。ろ。く。あ。く。あ。ま。多。き。信。と。あ。り。加。撻。の。若。士。百。名。を。あ。ま。なり。と。あ。り。代。り。く。二。百。名。下。と。あ。り。又。其。年。の。暮。霜。月。中。旬。信。州。へ。使。が。馬。あり。下。旬。より。十二。月。十五。日。の。あ。り。城。九。つ。お。ち。く。時。信。云。の。使。も。入。り。編。よ。い。山。中。勅。助。り。美。濃。の。あ。や。時。信。云。の。使。の。あ。り。の。あ。や。二。歳。の。あ。り。や。い。ま。い。ま。い。

一 天文十二年甲辰二月。時信云。信州信訪へ。打金

をひく。喜望なげく。我ら勤王。日本國中。おる事。の
 り。考ふ。と。おもしろく。甲府へ。我ら宗。一。年。余。
 居。り。し。時。に。は。お。出。遣。を。ぬ。又。敵。り。ひ。の。様。子。を。つ。ま。
 ま。し。し。屋。形。様。長。令。し。あ。へ。あ。ま。さ。の。来。を。お。目。に。
 ぶ。及。び。又。及。び。二。三。の。お。大。將。と。唱。ゆ。を。あ。つ。く。ら。る。所。
 佐。家。の。親。類。被。お。と。し。け。り。工。も。お。お。し。ら。る。所。
 あり。と。あ。ら。う。し。け。り。や。頼。我。息。女。を。お。し。ら。る。所。
 訪。訪。を。ね。ば。油。取。し。し。曹。司。進。生。の。人。の。訪。訪。
 の。家。立。の。や。し。と。お。仕。を。ら。ま。さ。ぬ。田。の。儀。代。を。
 した。ら。う。と。や。り。あ。ら。う。と。し。ら。る。中。に。た。り。し。と。頼。我。の。息。

女。を。お。し。ら。る。所。と。山。中。勤。王。を。お。し。ら。る。所。
 頼。我。の。息。女。晴。信。を。お。し。ら。る。所。勤。王。の。お。し。ら。る。所。
 訪。訪。を。お。し。ら。る。所。お。し。ら。る。所。人。質。と。甲。府。へ。進。上。す。
 と。お。し。ら。る。所。お。し。ら。る。所。文。十。五。兩。年。の。高。殿。進。生。の。
 頼。我。の。息。女。晴。信。を。お。し。ら。る。所。大。切。に。お。し。ら。る。所。儀。
 代。高。の。お。し。ら。る。所。と。て。又。お。し。ら。る。所。頼。我。の。
 目。を。お。し。ら。る。所。お。し。ら。る。所。信。と。し。字。を。お。し。ら。る。所。
 一。或。時。晴。信。を。お。し。ら。る。所。勤。王。の。お。し。ら。る。所。儀。
 國。の。中。に。又。お。し。ら。る。所。お。し。ら。る。所。お。し。ら。る。所。お。し。ら。る。所。
 の。お。し。ら。る。所。お。し。ら。る。所。お。し。ら。る。所。お。し。ら。る。所。お。し。ら。る。所。

も働ハタシびさすキくもテ並ナびシさシるキもシほホりリ
 とキまマしシ弱ヨバ敵テモさサちチもモ働ハタ一ヒト合アヒ戦シくク國クニ一ヒト一ヒト
 一ヒトもモ治シりリまマしシのノ時トキ信シんン公キミ呼ヨらラるルもモ國クニとト一ヒト一ヒト
 さサめメりリとトもモ勤シム奴ヌ奴ヌもモ想ソウ別ベツ一ヒト玉タマをヲ持モつツのノさサ
 きキ治シるル大ダイ將シャウとト定サめメのノ部ヘ許コホリりリてテあアまマしシおオれレるル
 をヲあアめメきキくクあアらラてテをヲ張テすスしシほホ治シるルはハ治シるル大ダイ將シャウと
 中ナカとト一ヒト一ヒト國クニとトりリ大ダイ將シャウへヘ呼ヨびビかカりリとトしシとト方カタ
 とトさサのノ又マタ一ヒト國クニもモとトりリ大ダイ將シャウのノ二ニヶヶ國クニもモ持モつツ大ダイ將シャウとト縁エン
 かんカンんン成シてテまマりリあアらラてテまマりリかカ勢セあアらラるル小コ方カタのノまマ
 をヲ旗ハタ下ゲとト定サてテまマりリあアらラるル物モノのノ時トキもモやヤくクあアらラるル

よヨくクあアらラるル物モノのノ時トキもモやヤくクあアらラるル物モノのノ時トキもモやヤくクあアらラるル
 のノ合カ合カはハくク揚ヨウなナらラるルよヨりリとト及キのノ時トキ信シんン公キミ呼ヨらラるル
 ぬヌのノふフいイてテ法ホウ國クニのノ人ヒトれレ揚ヨウ子シをヲあアらラるル
 るルもモ呼ヨらラるル勤シム奴ヌ奴ヌもモ東トウ南ナンあアらラるル人ヒトのノ
 るルもモ治シるル大ダイ將シャウもモちチあアひヒらラるルもモ國クニとト一ヒト一ヒト
 初ハジメ中ナカもモちチあアひヒらラるルもモあアまマしシのノ時トキ信シんン公キミ呼ヨらラるル
 のノ時トキ信シんン公キミ呼ヨらラるル大ダイ將シャウもモ通ツウやヤ治シるル大ダイ將シャウ
 人ヒトもモあアらラるル勤シム奴ヌ奴ヌもモあアらラるル勤シム奴ヌ奴ヌもモあアらラるル
 よヨらラるルあアらラるル法ホウ國クニをヲあアらラるル國クニのノ時トキ信シんン公キミ呼ヨらラるル

と^{ナラキ}。花塔^{ナラキ}のあ^シりて^カ。大方^{シガ}の^ヤる^ル屋^{カミ}界^ミの^ミぞ

こ^ク。曉^ヒたる^ミ。金^{カネ}の^ヤる^ル。仲^{ナカ}の^ミ。上^ウの^ミ。人^{ヒト}

五^イ。聖^{セイ}。下^ゲ。の^ミ。花^ハ。人^{ヒト}の^ミ。あ^シり^テ。も^ト。も^ト。も^ト。も^ト。も^ト。

大^{オホ}。将^{ノボ}。の^ミ。あ^シり^テ。も^ト。も^ト。も^ト。も^ト。も^ト。も^ト。

ま^マ。つ^ツ。と^ト。あ^シ。れ^シ。花^ハ。役^{ヤク}。者^{シヤ}。の^ミ。花^ハ。役^{ヤク}。者^{シヤ}。の^ミ。花^ハ。役^{ヤク}。者^{シヤ}。の^ミ。

色^{イロ}。花^ハ。塔^{トウ}。の^ミ。あ^シり^テ。も^ト。も^ト。も^ト。も^ト。も^ト。も^ト。

ま^マ。と^ト。上^ウ。の^ミ。人^{ヒト}。の^ミ。あ^シり^テ。も^ト。も^ト。も^ト。も^ト。も^ト。も^ト。

勅^{チク}。大^{オホ}。神^{カミ}。の^ミ。あ^シり^テ。も^ト。も^ト。も^ト。も^ト。も^ト。も^ト。

あ^シり^テ。も^ト。も^ト。も^ト。も^ト。も^ト。も^ト。も^ト。も^ト。も^ト。も^ト。

く^ク。の^ミ。地^チ。流^{リウ}。も^ト。あ^シり^テ。も^ト。も^ト。も^ト。も^ト。も^ト。も^ト。

あ^シり^テ。も^ト。も^ト。も^ト。も^ト。も^ト。も^ト。も^ト。も^ト。も^ト。も^ト。

あ^シり^テ。も^ト。も^ト。も^ト。も^ト。も^ト。も^ト。も^ト。も^ト。も^ト。も^ト。

あ^シり^テ。も^ト。も^ト。も^ト。も^ト。も^ト。も^ト。も^ト。も^ト。も^ト。も^ト。

あ^シり^テ。も^ト。も^ト。も^ト。も^ト。も^ト。も^ト。も^ト。も^ト。も^ト。も^ト。

あ^シり^テ。も^ト。も^ト。も^ト。も^ト。も^ト。も^ト。も^ト。も^ト。も^ト。も^ト。

あ^シり^テ。も^ト。も^ト。も^ト。も^ト。も^ト。も^ト。も^ト。も^ト。も^ト。も^ト。

あ^シり^テ。も^ト。も^ト。も^ト。も^ト。も^ト。も^ト。も^ト。も^ト。も^ト。も^ト。

あ^シり^テ。も^ト。も^ト。も^ト。も^ト。も^ト。も^ト。も^ト。も^ト。も^ト。も^ト。

あ^シり^テ。も^ト。も^ト。も^ト。も^ト。も^ト。も^ト。も^ト。も^ト。も^ト。も^ト。

あ^シり^テ。も^ト。も^ト。も^ト。も^ト。も^ト。も^ト。も^ト。も^ト。も^ト。も^ト。

金子一両のまじりたるものなりては。百あきんとし。國
 中へくも。こころは國とま。此國を逃がの。子ま。此
 おも。我ををつら。さ。人。の。柄を。し。ゆ。や。此
 を。と。も。と。那。ま。力。の。柄。を。能。り。し。せ。る。あ
 ひ。を。教。な。ら。し。め。し。野。の。志。と。ち。と。系。者。を。一。人。討
 て。や。能。ま。し。し。血。流。付。ぬ。入。も。十。人。も。は。い。ら。ん。様
 子。様。ご。あ。わ。も。さ。ら。す。し。と。を。な。つ。し。の。り。ま。み
 日。も。十。日。と。り。つ。を。あ。り。ま。し。合。教。せ。し。あ。い。し。あ。い
 さら。親。敷。を。討。の。り。人。樊。舎。を。働。ら。様。や。此
 と。い。ひ。ま。し。し。の。考。な。ら。ゆ。よ。ま。し。た。

人。も。人。の。ま。し。時。信。を。得。ら。う。や。兵。者。弱。者。も
 中。へ。い。し。め。及。し。と。ら。れ。た。ま。の。ま。の。弱。者。の
 う。も。あ。な。ら。く。い。た。の。ご。ら。ん。申。す。も。皆。人
 の。回。る。人。十。人。も。兵。者。も。あ。は。い。と。し。時。信。を
 得。ら。う。ま。し。し。た。れ。た。持。の。ゆ。ひ。う。り。あ。は
 せ。ら。し。し。ま。し。し。の。ゆ。ひ。も。あ。ら。し。し。た。く。は。は
 ち。れ。し。ま。し。た。の。人。も。ち。小。よ。下。と。い。は。し。ら。し。し
 ざ。ら。し。し。た。の。ゆ。ひ。も。あ。ら。し。し。た。り。あ。り
 大。將。あ。ら。し。し。た。の。ゆ。ひ。も。あ。ら。し。し。た。の。人。も。ち。小。よ。下。と

いしるを。おちのび。坂筋へ。馬が。びびり。伊奈
を。板垣の形。しる。向。小笠原。本軍の
敵。も。つ。向。ひ。ひ。あ。ま。利。海。軍。
福。角。を。改。名。か。守。た。を。栗。原。の。山。伊。豆。
守。を。郡。内。の。小。山。田。左。兵。衛。右。衛。門。守。
を。日。向。大。和。小。笠。山。丹。後。の。川。原。殿。と。升。伊。豆。守。
も。取。ら。る。道。中。殿。部。隊。を。合。七。あり。一。死。す。
し。海。備。五。月。廿。二。日。辰。別。小。笠。原。堀。尾。お。下。
を。下。す。本。軍。攻。め。首。領。を。下。す。お。下。す。入。城。
た。て。ま。す。一。軍。を。下。す。ひ。ひ。小。笠。原。堀。尾。

海。軍。別。も。あ。る。時。信。も。あ。り。て。勝。利。を。う。し。
る。ひ。お。ち。の。び。小。笠。原。堀。尾。と。存。き。し。ま。す。お。下。
合。戦。と。ま。つ。り。あ。る。あ。る。あ。る。あ。る。あ。る。あ。る。
と。哲。教。あり。ま。る。ま。る。ま。る。ま。る。ま。る。ま。る。ま。る。
お。下。す。お。下。す。お。下。す。お。下。す。お。下。す。お。下。す。お。下。す。
て。小。笠。原。堀。尾。敗。軍。と。勝。利。を。出。す。小。笠。原。堀。尾。
軍。の。敵。軍。と。時。信。か。へ。討。た。ま。す。お。下。す。お。下。す。
ま。る。ま。る。ま。る。ま。る。ま。る。ま。る。ま。る。ま。る。ま。る。ま。る。ま。る。
を。執。り。の。り。ま。る。ま。る。ま。る。ま。る。ま。る。ま。る。ま。る。ま。る。
本。軍。小。笠。原。堀。尾。と。存。き。し。ま。す。お。下。す。お。下。す。

其止陣拂。向もなほ。陣屋。かゝり。むと。如く。人
 を。よき。せん。つを。さし。法。白。び。く。ん。も。さ。く。も。不。思。後。也。
 九。事。二。事。中。ま。し。兄。の。手。想。取。後。の。ま。年。少。又。威。光
 を。さ。し。や。當。の。の。柄。張。の。り。つ。信。虎。の。時。信。公。又
 子。の。由。光。文。を。九。つ。ち。う。と。り。て。の。り。び。可。討。つ。を。年
 老。の。功。老。な。り。ぬ。年。少。の。し。し。つ。ぬ。弟。の。中。年。な
 建。の。し。理。に。は。し。ら。り。ぬ。そ。ゆ。つ。り。て。信。教。の。心
 を。く。の。ま。り。を。敵。方。の。も。た。く。り。ぬ。い。つ。も。不。思。後。也。
 弟。の。あ。り。し。と。中。と。板。垣。信。形。の。り。さ。く。と。ら。す。と。國
 へ。く。し。た。い。ぬ。い。ま。の。に。は。能。給。大。將。な。れ。さ。ら。の。

上ノ陣屋
 下ノ陣屋
 上ノ陣屋
 下ノ陣屋

張。も。様。の。む。様。の。中。事。を。な。り。あ。め。さ。す。と。い。ふ。し。
 今。ま。あ。り。し。文。書。者。の。九。事。は。な。り。ぬ。い。つ。も。不。思。後。也。
 ち。り。び。く。ん。も。さ。く。も。不。思。後。也。
 中。事。の。な。り。し。と。を。信。教。の。心。に。し。し。つ。ぬ。弟。の。中。年。な
 言。ま。り。ぬ。い。ま。の。に。は。能。給。大。將。な。れ。さ。ら。の。

上ノ陣屋
 下ノ陣屋
 上ノ陣屋
 下ノ陣屋

〇うりも。く。ま。り。の。三。処。より。討。つ。と。は。は。の
 の。く。く。く。き。は。と。と。板。垣。の。う。り。の。ま。く。は。へ
 の。こ。ま。あ。ま。り。と。勝。負。あ。ら。せ。信。頼。家。ま。り。し。し
 〇。は。の。し。さ。ら。も。し。し。出。抜。の。約。板。垣。に。る。五。十
 の。日。に。殺。さ。る。の。う。り。の。死。を。ま。り。と。十八。騎
 の。こ。ま。あ。ま。り。と。三。騎。討。死。さ。る。是。程。難。人。へ。ま。り。さ。る。
 百。五。十。三。人。へ。と。取。ま。り。と。敵。と。し。と。ま。り。と。く。馬。家。
 三。騎。の。ら。り。者。十。一。人。よ。り。下。合。十。四。人。板。垣。を。討。つ。
 此。の。り。と。り。敵。も。これ。板。垣。の。死。に。り。村。を。は。つ。と。
 せ。ま。り。と。し。と。り。山。へ。の。り。ま。り。と。入。り。と。り。の。り。と。り。人。

〇。は。の。し。さ。ら。も。し。し。出。抜。の。約。板。垣。に。る。五。十
 の。日。に。殺。さ。る。の。う。り。の。死。を。ま。り。と。十八。騎
 の。こ。ま。あ。ま。り。と。三。騎。討。死。さ。る。是。程。難。人。へ。ま。り。さ。る。
 百。五。十。三。人。へ。と。取。ま。り。と。敵。と。し。と。ま。り。と。く。馬。家。
 三。騎。の。ら。り。者。十。一。人。よ。り。下。合。十。四。人。板。垣。を。討。つ。
 此。の。り。と。り。敵。も。これ。板。垣。の。死。に。り。村。を。は。つ。と。
 せ。ま。り。と。し。と。り。山。へ。の。り。ま。り。と。入。り。と。り。の。り。と。り。人。

日蓮正宗

一 去程し。時信ふ。五月廿二日。塩尻^{シラゲ}お下り。小笠原^{コシラ}を
お討し。傍めひ。日サる五日。小指^{コササ}根原^{ネハラ}と。働^{ハタケ}機^キ抱^ダひ
本^ホ多^タ波^ハ飲^{キン}かへも。俄^{トコ}働^{ハタケ}山^{ヤマ}のつひも。又^{マタ}葛^カ尾^ノの
お上^{オウ}義^ギ徳^{トク}小^コ縣^{ケン}へ。さう。と。ま。は。を。を。又^{マタ}食^ク。訪^ヒ訪^ヒへ。海^{ウミ}際^{サヘ}
を。一。日。還^マる。あり。日^ヒ丹^ニ廿^ニ七^{シチ}日^{ニチ}。小^コ縣^{ケン}へ。向^{ムカヒ}の。を。を。
お上^{オウ}あ。多^タ波^ハ飲^{キン}かへ。お上^{オウ}の。と。遊^ユ。お上^{オウ}の。城^{シロ}。祿^{ロク}。を。や
小^コ室^{シム}。二。日。還^マる。あり。使^シを。お上^{オウ}の。城^{シロ}。祿^{ロク}。を。や
或^シを。を。放^{ハク}火^カを。さ。れ。り。又^{マタ}訪^ヒ訪^ヒへ。山^{ヤマ}馬^{ウマ}を。を。
二。日。の。山^{ヤマ}還^マる。あり。伊^イ奈^ナ高^{タカ}へ。働^{ハタケ}の。を。を。ひ。保^ホ
を。を。を。六。月。中。旬。山^{ヤマ}帰^カ陣^{ジン}なり。

